

To Protect Our Climate



Our Vision, Our Work



TED Countdown Summit @ Nairobi, Kenya

© Callie Giovanna / TED

2025年度の1年は、私たちにとって重要な年でした。

何より、チーム内で深い議論を重ねました。戦争やエネルギー危機など、不安定な世界情勢の中で、気候変動問題は相対化され、一部では堂々と否定すらされています。だからこそ、私たちはめざす世界と存在意義を共に確かめ合いました。

また、多くの課題と結びついている気候変動の統合的な解決を図るべく、社会の課題、人々の認識を受け止め、対話を重視して事業を進めました。その結果、さまざまな分野の人たちと新しい関係性を育むことができました。

支援を続けてきた市川市と豊岡市が、環境省の脱炭素先行地域に選定されたことは、具体的な取り組みに弾みがつく大きな成果でした。地域の脱炭素のアプローチに手応えを得ながら、これから実装へと踏み出します。

私たちの強みである調査分析に関しては、複雑で不透明な政策動向について論点をわかりやすく伝えることに果敢に挑戦し、シンクタンクとしての成長を遂げました。

こうしてClimate Integrateは5年目に入りました。課題は大きく厳しいけれど、信念を持ち、人々の間に「Yes」の共感を広げていくため、チーム一丸となってこれからも歩みを進めます。

ぜひ一緒に、道を切りひらいていきましょう。

2026.6

代表理事 平田仁子

Kimiko Hirata, Ph.D, Executive Director

2021年 ゴールドマン環境賞受賞

2022年 英国放送BBC「100人の女性」選出

2024年 クライメート・ブレイクスルー賞受賞

Climate Integrate<クライメート・インテグレート>は、
2022年に発足した日本に拠点を置く独立した気候政策シンクタンクです。



気候を保護し、公正かつ平和で持続可能な社会を実現することをめざします。

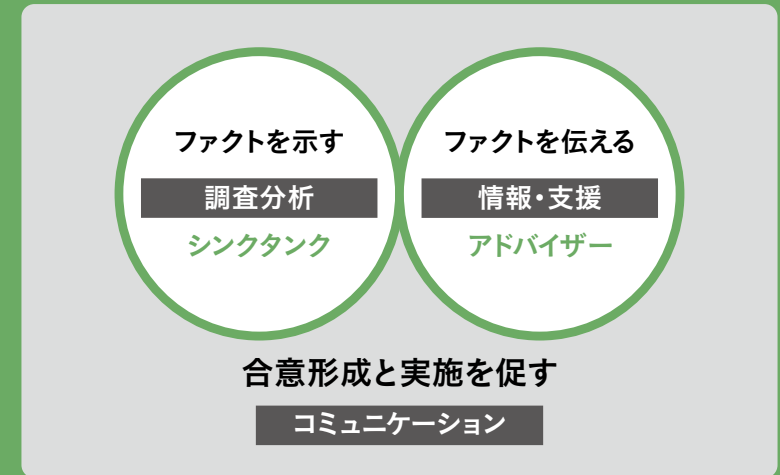


科学と政治と社会をつなぐ統合的なアプローチで、
さまざまなアクターの脱炭素化に向けた取り組みを支援します。



知識:気候政策に関する情報や分析の提供
公正:公正で透明性の高いプロセスと対話の促進
活力:多様なステークホルダーの脱炭素の取組の支援

Climate Integrateは、「ファクトを示す」シンクタンクとして、また「ファクトを伝える」アドバイザーとして、コミュニケーションを通じて、主要アクターの取り組みを支援します。



ファクトを示す:調査分析

現状や課題を踏まえ、向かうべき方向性を提示

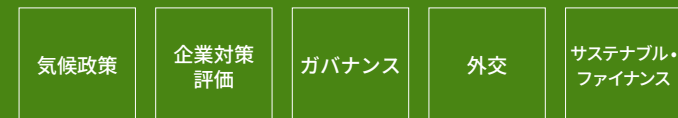
ファクトを伝える:情報・支援

対象に合わせ、確かな情報を伝え、届ける

合意形成と実施を促す:コミュニケーション

ステークホルダーの共感と行動の広がりを生み出す

事業領域

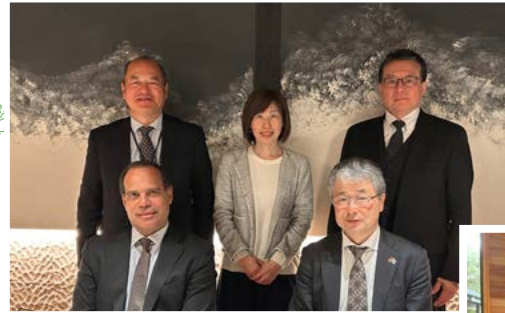


世界とつながる

Climate Integrateは、海外の研究機関や専門家らとの幅広いネットワークを持ち、最新の専門的知見を基盤に調査分析を行っています。2025年度においても、諸外国の政府関係者や在日大使館、ドイツやアメリカなどの研究機関やシンクタンクの専門家らとの対話や議論を深めました。



May 2025
**FIPRA主催
 パネルディスカッション**
 世界の主要な公共政策コンサルティング会社が集結するネットワークの会合で関係者と意見交換。



国際司法裁判所による、気候を守る国家の義務に関する勧告的意見の実現に尽力したバヌアツのラルフ・レゲンバヌ環境大臣らと会談。
各国要人との面談



気候変動枠組条約 (UNFCCC) の元事務局長クリスティアナ・フィゲレス氏 (右) とともに。

May 2025
**シンガポール開催の
 Climate Groupイベント**
 気候変動対策におけるアジア企業の役割について対談。



October 2025
**大阪万博イベント
 (在日ハンガリー大使館主催)**
 IPCCの副議長ディアナ・ウルゲ=ヴォルシャッツ氏らと、気候変動における共通課題について討論。



June 2025
**ケニア・ナイロビ開催の第3回
 TED Countdown Summit**
 TEDでClimate Integrateの取り組みを世界に紹介。動画はTEDの公式HPのほか、YouTubeチャンネルで公開。



March 2026
**Climate Integrate主催
 シンポジウム**
 日本の排出量取引制度について、ドイツ経済研究所の専門家と欧州事情を踏まえ議論。

© Callie Giovanna / TED

豊岡・市川・酒田

Climate Integrateでは、地域主体の脱炭素化の推進を支援しています。食・健康・観光・地元経済など、地域にさまざまな影響を及ぼす気候変動への対策は、地域課題を解決しながら進めることがポイントになります。2025年度も引き続き、地域の関係者との対話を重ね、脱炭素化の取り組みを進めていきました。



木を切ったり運んだり、森林整備体験



電動モビリティの「トゥクトゥク」に乗って地域内周遊へ



断熱改修した宿を体験

祝
脱炭素先行地域

気候変動 × 観光

豊岡市 (兵庫県)

2022年にClimate Integrateの事業として始動した地域主導の「気候変動×観光」の取組を基盤に、神鍋高原では構想から実装へと取組を具体化してきました。「ゆきみらい100年宣言」や行動計画の策定、断熱ワークショップ、地域共同基金「1% for Local」、サステナブルツアーの開発等を通じ、観光・エネルギー・地域資源の横断的取組を推進。その中でClimate Integrateは、事業の土台づくりの役割を担ってきました。継続的な取組の結果、豊岡市は2026年に第7回脱炭素先行地域に選定。この事業では、住宅・宿泊施設への太陽光発電やソーラーカーポートの設置、未利用地を活用したオフサイトPPA、マイクログリッドによるレジリエンス強化、道の駅の機能強化等を実施予定。「再エネ標準装備」地域のエネルギー自立を図るとともに、観光地としての魅力と持続性を高めます。また、営農型太陽光発電やコウノトリ育む農法との連携等、自然共生型再エネの導入にも取り組めます。



第7回脱炭素先行地域の授賞式



サステナブルなモニターツアーで地域の歴史や自然資本について学ぶ



気候変動 × 公正な移行

酒田市 (山形県)

酒田市沖は国から洋上風力の有望区域に指定され、酒田港は基地港湾に位置づけられています。風況を生かした産業育成やまちづくりに向けて、Climate Integrateは2022年から関係者との協議を継続しています。2025年度は、産業構造の転換に伴う公正な移行についての話し合いを進めるための調査分析を行い、政府や企業のほか、再生可能エネルギーの地域導入に取り組む団体や研究者との連携強化を図りました。



酒田共同火力石炭火力発電所

祝
脱炭素先行地域

気候変動 × 都市の住宅対策

市川市 (千葉県)



第6回脱炭素先行地域の授賞式



市民と行政の連携企画「アシタノイチャカワ」

首都圏近郊の市川市は、住宅地が密集する妙典エリアにおける既存の賃貸集合住宅を中心に断熱改修と太陽光発電の設置を進める事業を提案し、2025年に第6回脱炭素先行地域に選定されました。住環境の整備を進めることで、市川市の課題である子育て世帯の支援を図ることがねらいです。本事業には、代表の平田が市の環境施策推進参与として構想段階から深く関与してきました。また同時に、Climate Integrateとして、市と市民団体のネットワークの協働で実施するシリーズ企画「アシタノイチャカワ」の運営を地元団体のメンバーとともに担い、5回のイベントを実施し、市全域での人のネットワークや情報の共有に関する支援を行いました。



太陽光と断熱について学ぶワークショップ (アシタノイチャカワ Vol.4)

Climate Integrateでは、2025年度もさまざまな調査分析を行い、ファクトを示してきました。複雑なテーマを掘り下げたレポートとインサイトの中には毎年、最新情報をアップデートしているシリーズもあります。

レポート



2026.3

「GX-ETSとは？」

2026年4月に本格始動した日本版排出量取引制度（GX-ETS）。制度の仕組みを概説し、炭素価格の見直しなどを示しています。



2025.9

「ネットゼロを評価する2025： 日本企業10社の進捗評価」

合計排出量が日本の温室効果ガス排出量の約40%に相当する日本企業10社について、気候変動対策における情報開示と取組の実態を評価しています。



2025.7

「What's AZEC?： アジア・ゼロエミッション共同体とは？」

2023年3月に発足したアジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）。200を超える覚書案件の参加国・協力分野・参加主体について分析しています。



2025.4

「日本の気候・エネルギー予算2025： 政府予算とGX投資の分析」

2024年度に続き、2025年度の気候・エネルギー予算、及び2023-2025年度のGX投資について整理しています。

インサイト



2026.3

「2026年の気候変動をめぐる10のハイライト」

気候変動に関連する出来事やイベントなどをカレンダー形式で紹介しています。



2026.3

「What's New in AZEC?： 2025年の進捗とポイント」

2025年7月公表レポート「What's AZEC」以降に行われた主要会合や新動向に焦点を当て、その後の進捗をまとめています。



2025.4

「政策決定プロセスの検証：第7次エネルギー基本 計画・GX2040ビジョン・地球温暖化対策計画」

気候・エネルギーを含めた政策においては、公正で透明性のある審議プロセスが重要です。2024年公表レポートに続き、第7次エネルギー基本計画などの政策決定プロセスを検証しています。

ファクトを伝える

日本政府、各国政府や在日大使館、地方自治体、研究機関やシンクタンク、企業、地域団体、メディアなど、多様なアクターとのコミュニケーションを通して、脱炭素社会の実現を支援しています。

講演・連携先

京都大学、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、立教大学、学習院大学、千葉商科大学、高崎経済大学、同志社大学、自然エネルギー大学リーグ、欧州連合代表部、イギリス大使館、ドイツ大使館、ハンガリー大使館、インドネシア大使館、札幌市、酒田市、松本市、市川市、杉並区、豊岡市、GWEC（世界風力会議）、JWPA（日本風力発電協会）、REPO（再生可能エネルギー推進機構）、FOURE（再生可能エネルギー地域活性協会）、全国小水力利用促進協議会、TED、PRI、FIPRA、GR Japan、E3G、Climate Group、Future Innovation Lab、特別区人・厚生事務組合、バルシステム、生活クラブ、ワーカーズコープ、CRP、エンカル協会、City Lab Tokyo、地域の団体など

5月

元ラグビー日本代表の五郎丸歩さんが静岡県磐田市で主導するプロジェクトで講演



5月

慶應義塾大学で講義



10月

札幌市の気候変動タウンミーティングで講演



11月

市川市のイベント「アシタノイチカワ」に参加



3月

立教大学環境学部記念イベントに登壇



2025 ▶

▶ 2026



7月

AZECレポートについてレクチャー



9月

BS朝日『地球クライシス』にゲスト出演



10月

秋田で開催された洋上風力サミットのモデレーターを務める



3月

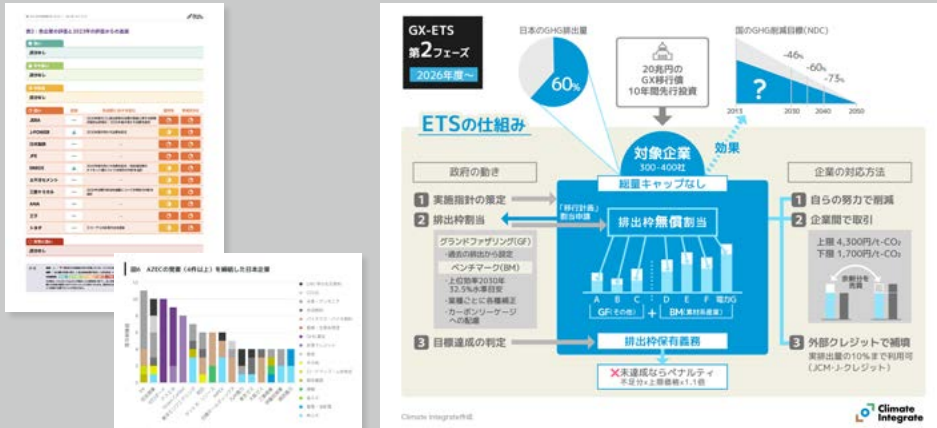
Climate Integrate主催シンポジウムを開催



3月

GX-ETSイベントで分析結果を報告

Climate Integrateでは、人々の理解や共感を上げていくために、複雑なテーマや論点をどのように表現し、どのように伝えるのが良いかを考え、クリエイティブに挑戦しています。分析視点の独自性のみならず、資料やグラフィックスの美しさやわかりやすさには、高い評価を得ています。



チームは、多様なバックグラウンドを持つ個性豊かなメンバーの集合体です。それぞれの強みを活かし、社会に対する私たちの仕事の意味を厳しく問いつつ、共通のミッションに向かって仕事を行っています。2025年11月にはリトリートを開催し、チームの結束をさらに高めることができました。



連載/出演/インタビュー等

- 週刊エコノミスト：「日本のエネルギー政策の「決め方」に異議あり 透明性に乏しく審議会委員に将来世代不在」 2025.4.7
- VIDEO NEWS：「非現実的な第7次エネルギー基本計画を検証する」 2025.4.26
- 日経ビジネス『地球温暖化』：コラム「平田仁子と読み解く、パリ協定後の気候変動対策」 2025.5
- 日刊工業新聞：「化石燃料の脱炭素化に重点気候・エネ予算、今年度4兆6710億円」 2025.5.2
- Bloomberg：「「言い続けること大事」、日本の気候政策問う若手経営者-2050年意識」 2025.5.9
- TEDトーク：TED Countdown Summit 2025「A Cheat Sheet for Accelerating Clean Energy」 2025.6
- 朝日新聞：「気候変動、選挙の「隠れ争点」 有権者の3人に1人、「考え近い候補に」」 2025.6.10
- 岩波書店『環境と公害』：「第7次エネルギー基本計画による脱炭素化の行方-政策決定プロセスと化石燃料利用に関する考察」 2025.7
- オルタナ：「特集「反ESGでも変わらないもの」」 2025.7.1
- 朝日新聞：「温暖化対策、日本の現在地は 化石燃料への政府予算は再エネの9倍超」 2025.7.11
- 朝日新聞：「いま注目の論考」 2025.8.28
- 共同通信：対談「気候危機にどう向き合うか」 2025.8.31
- 朝日新聞：論壇Bookmark「人選に偏り、遅れる気候変動対策」 2025.9.15
- BS朝日：地球クライシス第13弾「気候危機 転換への道しるべ ～政治は気候変動を止められるのか?～」 2025.9.28
- 早稲田学報：1273号 特集：反骨精神「「地球沸騰化の時代」でも、人は連帯できる 気候変動解決を諦めない」 2025.10
- オルタナ：「電力・製鉄などGHG多排出10社、1.5°C水準を満たさず」 2025.10.9
- オルタナ：「国民の7割が再エネの導入拡大は必要と回答、反対は1割に」 2025.11.20
- 朝日新聞：「既設賃貸集合住宅の再エネ導入・断熱改修は進むのか 「脱炭素ドミノ」に挑む市川市」 2026.1.14
- 東京新聞：「気候変動対策、なぜ衆院選で語られない? 健康被害にコメや電気代の高騰…生活を脅かしているのに」 2026.2.1
- 日本経済新聞：「イラン軍事衝突が再定義するESG 企業統治に安保の視点も」 2026.3.8

掲載

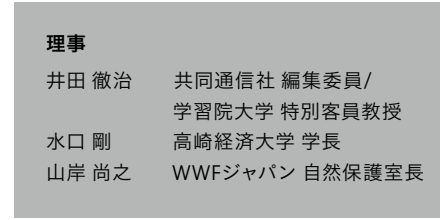
Bloomberg/朝日新聞/毎日新聞/北海道新聞/東京新聞/オルタナなど



平田 仁子
代表理事



小俵 大明
プログラム・
ディレクター



理事
井田 徹治 共同通信社 編集委員/
学習院大学 特別客員教授
水口 剛 高崎経済大学 学長
山岸 尚之 WWFジャパン 自然保護室長



渡辺 千咲
プログラム・
ディレクター



小野里 悠紀子
オフィス・
マネジャー



溝田 裕美
サステナブル・
ファイナンス・
ディレクター



趙 聖実
財務・会計マネジャー



安井 裕之
公共政策
ディレクター



ラギニ・サルマ
研究員



萩谷 祥子
人事・マネジャー



佐々木 康之
コミュニケーション・
ディレクター



真辺 佑佳
コーポレート・
アナリスト



田中 真唯子
コミュニケーション・
オフィサー



大木 美幸
メディア&
コミュニケーション・
マネジャー



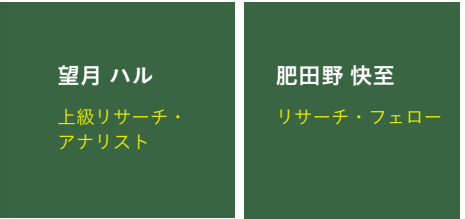
山崎 ゆきみ
研究員



佐々木 美佳
研究員



望月 ハル
上級リサーチ・
アナリスト



肥田野 快至
リサーチ・フェロー

アドバイザー

- ビル・ヘア CEO, Climate Analytics (気候科学)
- アシーナ・ロンキロ=バレストロス 独立アドバイザー (気候外交・気候資金)
- 蔵元 左近 弁護士 (法務・SDGs・ESG・ビジネスと人権)
- 白石 賢司 米国ローレンス・バークレー国立研究所 研究員 (エネルギーモデル分析)
- 坪郷 實 早稲田大学名誉教授 (政治学・比較政治・環境ガバナンス・市民社会論)
- 三宅 香 日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) 業務執行理事

パートナー

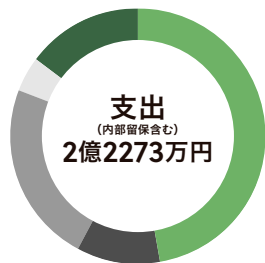
- Climate Breakthrough, US
- NewClimate Institute, Germany
- Helten Communications, Canada
- 本田事務所
- I & CO
- 日高神鍋観光協会
- 再生可能エネルギー推進機構 (REPO)



2025年度会計報告



- 助成金 96.7%
- 寄付金 2.3%
- 自主事業 0.5%
- その他 0.5%



- 調査研究 47.3%
- 政策参画 10.7%
- 情報発信 22.9%
- 対話・助言・支援 4.5%
- 管理部門 14.6%



Climate Integrateは、独立した気候政策シンクタンクです。気候政策に関する調査分析や、政府・地方自治体・企業・市民の脱炭素の取り組みを支援しています。



climateintegrate.org



x.com/ClimateInteg



To Protect Our Climate



Our Vision, Our Work

 Climate
Integrate
FY25
ANNUAL REPORT

一般社団法人 Climate Integrate

108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル 4F

03-6453-7570

contact@climateintegrate.org

climateintegrate.org